

平成19年7月17日

日本ヘリコプタ技術協会2006年度活動報告

1. 総会・講演会

- 日時：2006年4月28日(火)
- 場所：三菱重工横浜ビル 33階 3301会議室
- 総会：2005年度活動報告および収支報告の件他の議案を決議。
- 講演会：
 1. ヘリコプタ活用懇談会報告
上村 誠 氏 (日本航空宇宙工業会)
 2. ヘリコプター・オペリース及び日本のヘリ業界再生
中山 智夫 氏 (ITC Aerospace)
- 討論会：日本のヘリコプタ発展のためには、何が必要か？
司会：牧野 健 氏
- 出席者：約80名

2. 理事会・幹事会

- 理事会・幹事会を、平成18年4月28日(火)に開催された総会・講演会の前(午前中)に実施。
- 臨時理事会・幹事会を、Heli Japan 2006開催中の平成18年11月16日(木)に実施。前日11月15日(水)に、2007年10月15-17日ソウルで開催されるAHS Specialists' Conference「International Forum on Rotorcraft Multidisciplinary Technology」について、韓国代表団から協力の依頼があった。それに対して、日本ヘリコプタ協会会員に参加の奨励はするものの、韓国側からの提案であるJapan Sessionの実施については見合わせることに決定した。
- 臨時理事会・幹事会を、第31回定例研究会の平成19年3月15日(木)午前中に実施。次期ヘリジャパン開催について討論した。

3. 定例研究会

(1) 第30回定例研究会

- 日時：2006年10月3日(火)
- 場所：宇宙航空研究開発機構(JAXA)航空宇宙技術研究センター 講堂
- 講演会：
 1. JAXA航空プログラムグループで実施している研究開発の現状
石川 隆司 氏 (宇宙航空研究開発機構)
 2. AHSフォーラム参加報告
吉崎 裕治 氏 (三菱重工業(株))
 3. 生物の飛行について 滑空、回転、羽ばたきの各観点から
稲田 喜信 氏 (宇宙航空研究開発機構)
- 見学会：航空宇宙技術研究センター
展示室、三次元可視化センター、遷音速風洞、高圧燃焼試験設備

- 出席者：約 50 名

(2) 第 31 回定例研究会

- 日時：2007 年 3 月 15 日 (木)
- 場所：東京大学 山上会館
- 講演会：
 1. 成田ヘリエクスプレス就航まで
藤間 七郎 氏 (雄飛航空(株))
 2. 2006 年 European Rotorcraft Forum 報告
阿部 彰人 氏 (川崎重工業(株))
 3. その他
- 見学会：東京大学航空宇宙工学科
- 出席者： 約 50 名

4 . 特別講演会

- 日時：2006 年 11 月 13 日 (月)
- 場所：宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
航空宇宙技術研究センター 正門展示室隣接会議室
- 演題：ONERA における回転翼航空機の空力研究 30 年
- 講師：元フランス ONERA 回転翼研究部門長 Jean Jacques Philippe 教授
- 出席者：約 20 名

- 日時：2007 年 2 月 7 日 (水)
- 場所：東京大学 本郷キャンパス 工学部 新 2 号館 211 号室
- 演題：中国におけるヘリコプタ研究
- 講師：Nanjing University of Aeronautics and Astronautics Pinqi Xia 教授
- 出席者： 約 20 名

5 . 国際会議 Heli Japan 2006

- 会議開催日 平成 18 年 11 月 15 日 (水) ~ 11 月 17 日 (金)
- 開催場所 名古屋国際会議場 (名古屋市)
- 参加者 464 名 (登録参加者 426 名 (内海外 38 名) 、一般参加 38 名)
- 参加国 8 カ国 (日本、米国、韓国、中国、インド、フランス、ドイツ、シンガポール)
- 開会講演 2 件 (防災・救急救命関連)
- 特別講演 4 件 (ヘリコプタ技術 3 件、防災・救急救命関連 1 件)
- 一般講演 74 件 (ヘリコプタ技術、防災・救急救命関連)
- パネルディスカッション 1 件 (防災・救急救命関連)
- 展示会 11 月 15 日 (水) ~ 16 日 (木) 19 団体からブース出展
- 見学会 11 月 17 日 (金) 参加者 68 名
津市伊勢湾ヘリポート、トヨタ産業技術記念館
- 懇親会 11 月 15 日 (水) 参加者 142 名

ヒルトン名古屋ホテル

- 同伴者バスツアー 11月15日(水)名古屋城、徳川美術館、ノリタケの森
- 名誉議長 愛知県知事神田真秋
- 議長 防衛大学校名誉教授長島知有
- 主催 国際会議ヘリジャパン2006実行委員会
構成 日本ヘリコプタ協会、(社)日本航空宇宙学会
米国国際ヘリコプタ協会、名古屋市

- 後援 文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、防衛庁、消防庁、海上保安庁、愛知県、NPO 法人 救急ヘリ病院ネットワーク、全国航空消防防災協議会、(社)全日本航空事業連合会、有限責任中間法人 日本救急医学会、(財)日本救急医療財団、日本航空医療学会、(社)日本航空技術協会、(社)日本航空機操縦士協会、(財)日本消防設備安全センター
- 協賛 愛知県、(財)石田財団、(独)宇宙航空研究開発機構、(社)中部航空宇宙技術センター、(社)日本機械学会、(社)日本航空宇宙工業会、日本ヘリコプター事業促進協議会、(財)防衛技術協会

以上